

平成 29 年 12 月定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成 29 年 12 月 22 日（金）
- 開 会 午後 1 時 30 分
閉 会 午前 2 時 50 分
2. 会 場 茅野市役所 602 会議室
3. 出席委員 教育長 山田 利幸 同職務代理者 矢崎 靖雄
教育委員 小林 俊恵 教育委員 小平 光子
出席者 生涯学習部長 平出 信次 こども部長 牛山津人志
学校教育課長 有賀 淳一 スポーツ健康課長 鋤柄 敏
幼児教育課長 五味留美子 こども課長 五味 健志
生涯学習課長 藤森 隆 文化財課長 守矢 昌文
公民館長 矢島喜久雄
教育総務係長 渡辺 雄一
教育総務主事 丸茂 直樹
こども係長 今井 明彦
4. 傍聴者 2 名

12月定例教育委員会次第

日 時 平成29年12月22日（金）午後1時30分から

場 所 市役所 602会議室

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第1号 教育長報告

第2号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第3号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

4 議 案

（1）平成30年度保育園入園式の日程について

（2）平成30年度小中学校入学式・着任式等の日程について

（3）公益財団法人の役員の選任について

5 検討事項

今回はありません。

6 その他

（1）市議会12月定例会一般質問について

（2）市議会12月定例会議決結果について

（3）愛してるぜ茅野ミーティング2017の報告

（4）平成30年度地区公民館長の選考について

（5）分野別計画の中間報告について

（6）総合教育会議について

次回定例教育委員会日程について

1月24日（水）午後1時30分「602会議室」

（事務局会議 1月11日（木）午前9時00分「602会議室」）

7 閉会

教育長

只今から 12 月定例教育委員会を開催します。

それでは前月の 11 月の会議録の確認をします。承認に入りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

異議ないようですので、委員会終了後に署名をお願いします。

では、報告事項に入ります。報告第 1 号をご覧ください。12 月 1 日に市 P 連冬休み生活指導連絡会がありました。2 日にこどもの権利フォーラムがあり、3 日はこども会議がありました。こども会議には他市町村の子どもたちも参加して茅野市の子どもや大人と一緒にテーブルを囲んで話をしました。茅野の子どもたちが、茅野市のこれからのまちづくり、もっと住みやすい町にどうやっていったらいいか、それぞれ意見を言って非常に有意義な会議でした。人と人との繋がりが“僕らの未来プロジェクト”に繋がっていくところの素晴らしい姿が見られました。来年度の子どもたちの育ちを、子ども会員だけではなく、中学 2 年生・3 年生を対象にして学校教育の中に“まちづくり”の視点を取り入れて行けたら、と思っています。4 日は議会の一般質問、5 日には部課長会議と米沢地区少年野球表敬訪問がありました。良い成績が残せるといいなと思います。7 日は教育委員会の事務局会議、教育支援委員会諮問、オリンピック後援会発起人会があり、小平選手の後援会になると思います。26 日に発足します。8 日は議会一般質問と南信教育事務所事務連絡がありました。9 日は諏訪人権のつどいが諏訪文化センターで開かれました。小学校関係は豊平小学校が人権の花を作った活動の発表をしました。子どもたちが非常に堂々としていました。中学生の部では市内 4 校の作文が入選し、特に永明中学校の生徒が最優秀賞を取り、会場で発表しました。14 日に公民館運営審議会があり、後程また報告があると思います。そして縄文ライフフェスティバル実行委員会があり、最後の反省会がありました。学校関係では子どもたちが参加してくれて子どもと大人のいい関係ができたと思います。15 日に東部中学校で豊かな学び合い研究授業が行われました。現在、佐藤学先生が長峰中学校に 1 回、長嶋先生が年に 2 回、永明小・中学校に佐藤正明先生が年 2 回訪れて授業をしてくださっています。より豊かな学び合いを進めていきたいということで、北部中学校区で 1 人、東部中学校区で 1 人、専門の先生に来ていただいて中学校単位でしっかり授業研修を行っています。同じ日にパートナーシップのまちづくり推進会議がありました。16 日は北山浦スケート大会と 4 校親善スケート大会がありました。18 日は市教頭会、19 日は 0123 広場クリスマス会があり、過去最多の参加者が訪れました。保育園とはまた違い、誰でも参加できる場があるのはとてもいい事だと思います。それと文化センターで県教委「学び

の改革」説明会がありました。21日は教育支援委員会、今日22日は定例教育委員会、26日は小平選手の後援会発足が予定されています。27日は携帯インターネット検討会と縄文祭り実行委員会が開かれる予定です。今年度もあと少しですが、事故等なく充実した学校生活を送れるように、と考えております。以上です。

次に各課から報告事項第2号の12月の行事予定についてお願いします。

[各課から12月行事予定について報告]

資料（報告2号）

教育長

次に報告事項第3号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課、スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]

資料（報告3号）

教育長

報告事項について何かありますか。ないようですので次に移ります。

議案第1号「平成30年度保育園入園式の日程について」をお願いします。

幼児教育課長

説明させていただきます。議案第1号の資料をご覧ください。卒園式の予定の下に記載してありますが、入園式は平成30年4月2日月曜日に予定しております。聖母幼稚園につきましては4月6日金曜日が予定されています。各保育園の開式時間はまだ決まっておりませんので、決定したところでご報告致します。以上です。

教育長

議案第1号についてご質問ありますか。無いようですので次に議案第2号「平成30年度小中学校入学式・着任式等の日程について」をお願いします。

学校教育課長

議案第2号の資料をご覧ください。3月15日が中学校の卒業式、3月19日が小学校の卒業式となっております。入学式につきましては4月5日の午前中が中学校、午後が小学校となっております。なお離任式等ですが、※で記載してありますが今年度から教職員の負担軽減等の観点から出席範囲を縮小して開催します。転・退職職員と転任・昇任校長、及び教頭の送別式ですが、卒業式の当日に行われるということで、こちらも負担軽減等の観点から今年度から出席範囲を縮小して行います。また、例年行われていた転入・新任教職員の歓迎式は来年度から開催しないこととなりました。新任校長・教頭の研修の時に市長

よりお言葉をいただくのと、職員は5月のコンプライアンス研修の時に市長からお言葉をいただくように考えております。例年4月の第2週頃に行われていました新任校長・教頭歓送迎会は4月18日に行われる予定となっております。この間教育委員さん方のご出席いただく式等が多数ありますが、ご準備のほうよろしくお願い致します。以上です。

教育長

議案2号についてご意見などありますか。少々付け足しますが、3月19日の送別式ですが、以前までは転退職職員全員が集まっていました。卒業式当日でするので疲れ等ありますし、在職中の振り返りをゆっくりしてほしいということもあり出席範囲を縮小しました。そのかわりに市長から一人一人に手紙をいただくことになっています。入学式のほうも、式が終わった後に歓迎会があり、会が終わるまで業務が止ってしまうので取り止めて、新学期の準備等をゆっくりしてもらおうと思います。

では次の議案第3号「交易財団法人の役員の選任について」をお願いします。

学校教育課長

具体的には教育長が交易財団法人長野県学校給食会の理事に就任する内容のものです。まず議案第3-2号をご覧ください。地方教育行政の組織及び運営に関する法律ということで、第11条を抜粋しました。その中の枠で囲ってある第7項ですが、『教育長は、教育委員会の許可を受けなければ、営利を目的とする私企業を営むことを目的とする会社その他の団体の役員その他人事委員会規則（人事委員会を置かない地方公共団体においては、地方公共団体の規則）で定める地位を兼ね、もしくは自ら営利を目的とする私企業を営み、又は報酬を得ていかなる事業若しくは事務にも従事してはならない。』ということです。今回学校給食会の理事に就任するにあたり、この規定により教育委員会の許可を受けることが必要になったため、お諮りするものです。学校給食会の概要ですが、議案第3-1号の資料をご覧ください。学校給食会ですが、長野県の場合昭和32年に財団法人学校給食会として設立され、その後平成25年に公益財団法人に移行されています。学校給食会の行う事業につきましては、学校給食用物資を各都道府県の給食実施校に供給する機関として米やパン、脱脂粉乳その他の物資を買い受け渡しの業務並びに学校給食関係の資質向上を図るための各種研修・講習・研究会の普及実施、食の安心安全に関する衛生管理事業、情報収集・提供等の公益事業を推進している機関ということになります。今回山田教育長さんは駒ヶ根市の教育委員長さんの退任を受けての着任となります。非常に公益性の高い団体であり、着任するにあたり問題はないと考えております。ご審議をよろしくお願い致します。

教育長

前からあった団体ですが、私が県の市町村教育委員会連絡会の理事をしている関係で自動的に着任となりました。議案は以上ですが、質問などありますか。全委員、異議等無いようですので次に移ります。

検討事項は今回ありませんので、次のその他1「市議会12月定例会一般質問について」をお願いします。

こども部長

その他1の資料をご覧ください。矢島正恒議員より『支援を必要とする子どもや家庭への相談体制の充実について』「(1) 保育園児までの各種検診や保育による発達障害等の把握及び目指す支援と対応について」の質問をいただき、「健康福祉部では、母子保健事業として、妊娠からの各場面で相談体制の充実に努めている。来年4月からは妊娠届時の全員面接により支援が必要な母親や家庭の把握に努める。こども部では発達支援センターが健診後のやまびこ園や保育園へのつなぎを行っている。保育園における障害児については、加配保育士の配置を行い障害児に寄り添った支援を行っている。」と回答しました。「(2) 小学校・中学校における支援を必要とする子どもや家庭の相談状況と相談体制の充実について」の質問には「こども課での相談件数は平成28年度814件。小中学校の就学は、教育支援委員会において一人ひとりにあった指導に尽力している。また特別支援教育支援員やスクールソーシャルワーカーによる支援を行っている。今後は相談体制の充実が求められる。」と回答しました。再質問として「相談窓口の一本化や相談支援体制の設置場所、人材の確保などの次年度から特に力を入れることについて」の質問に対し「臨床心理士や職員4人で構成する発達支援センターを市役所6階こども課に移設し、新たに教育支援指導主事を配置する。学校教育課のスクールソーシャルワーカー2人をこども課に配置転換、更にこども課の家庭児童相談員2人のうち1人を教育支援指導主事とし、より専門的な相談支援に対応できる体制を構築する。」と回答しました。

次に伊藤正陽議員よりのご質問です。『台風21号に対する市と市教委の対応と課題について』「(1) 小中学校の登校時刻を遅らせ、更に休校とした理由は何か、臨時休校するにあたって考慮したことは何か。」に対して、「10月22日時点で登校時刻を遅らせた理由は台風の進路及び雨量の予測等からである。休校とした理由は、市内における災害の発生に加え土砂災害警戒情報が出され市内広域で倒木被害が発生し、通学路の安全が確保できない状況下で、災害対策本部が判断した。考慮したことは、全ての児童生徒が安全に登校できる状態が確保されているかであった。」と回答しました。「(2) 全校休校以外の選択肢はなかったか」に対して「各学校とも通学に際し要注意の場所があり、全ての児童生徒の安全が確認できない状況の下での判断としては正しかったと考えている。」と回答しました。

「(3) 自然災害発生(予想)時の児童生徒を守るための教育委員会、学校の対応について」の質問に対して「まず児童生徒が安全な状況かを確認することが重要だ。災害の発生した

タイミングにより対応は異なる。学校の場合は各校のマニュアルに従った対応をとる。登下校中、突然発生した場合等は児童生徒一人ひとりが安全を確保しなければならないため家庭での確認も必要となる。」と回答しました。

生涯学習部長

続いて小池賢保議員よりの質問です。『公民館によるまちづくりについて 平成 30 年 4 月より茅野市公民館は文化センター内にある茅野市勤労青少年ホームと統合し、名称も建物も「茅野市中央公民館」としてスタートする。まちづくりを進める上で、未来に立ち向かう人づくりが必要である。公民館の力を発揮するチャンスであると考え、このテーマに取り組んだ。』とのことで「(1) 平成 30 年 4 月より中央公民館としての新スタートの考え方について」の質問と、職員の資質向上についても質問がありました。「名称の変更に併せて、今まで以上に魅力的な、市民の皆さんに喜ばれる講座を展開し、多くの市民が公民館に集い、学び合い、仲間づくりを楽しんでいただける運営に努めていく。地区公民館主事は、定期的に開催している分館長主事連絡会や各種の地区事業等のコーディネーター役として身近な地域に寄り添い、地域課題の解決、学習活動、地区事業の推進役を担っている。地域の課題解決のコーディネーター役として、高い専門性と技量を身に着けるため、各種研修会等に参加するとともに、月 1 回、全地区職員で情報交換、事例発表を行うなど、切磋琢磨し合いながら個人のコーディネーター力の向上に努めている。」と回答しました。

「(2) 文化活動の推進や青少年への支援の展開について」に対しては「公民館では、住民の主体性を大切に、「学びたいときに、学びたいことを学ぶ」という住民の要求に応え、趣味や教養、健康や郷土の学習について幅広く取り上げてきた。その時代の地域に根ざす地域の課題に目を向け、その課題解決のための学習こそが生きる力の学習であり、公民館が担う文化活動の推進である。市民芸術祭においても音楽祭・芸能祭のステージ発表部門には、計 56 団体、596 人が出演。展示部門には 810 点が出品された。沢山の皆さんが集い盛り上げていただいたことは、公民館による文化活動の成果である。青少年については、昨年度から「わかもの放課後倶楽部」を立ち上げ、本年度は 36 名、16 回の講座を計画した。毎回全員が参加するというわけにはいかないが、仲間づくりの場としてよい雰囲気が生まれている。この活動の種をどう成長させることができるか、担当者、当事者である若者が知恵を出し、創意工夫することが求められる。できるだけ支援・応援をしていきたい。また、「縄文アート講座」や初の学校への出前講座など、これまで以上に学校との連携を模索していく。」と回答しました。「(3) 地域の活動を茅野市の宝にするための取り組みについて」の質問に、「80 分館が地域の伝統、地元のお宝を掘り起し、地域に根ざした活動を続けてきたことが特徴であり、誇りとすべきところである。本館では、分館活動に「お宝マップづくり」を提案している。このマップを使つての学習会、お宝めぐりウォーキング等、地域住民が動く活動につなげていきたい。また、「茅野学」を公民館から発信していく取り組みをしている。自分が住んでいる茅野の景色や空気を感じ、郷土を愛する心を学び、茅

野市の宝を発掘する学習につなげていきたい。」と回答しました。「(4) 第5次総合計画における公民館としての生涯学習や文化醸成の10年展望について」の質問に対して「社会教育推進計画の中で、「公民館の充実」に位置付けている。生涯学習都市宣言をしている市として、公民館活動を大切にしまちづくりを進めてきた市として、更なる充実を目指していく。そのために、他の行政部局、大学、民間団体・NPO法人や企業等、多様な主体とも連携した取り組みを進め、住民による主体的な活動が生まれる環境を醸成する役割を一層果たしていきたい。公民館の活動は、一見すると仲間同士の余暇活動に見えるが、その学び合いの先に、人生や地域にとって欠くことのできない地域づくりの協働の姿がある。個人の学習意欲に応え、学び合いを推進し、人の輪を広げ、まちづくりの役割を担っていききたい。」と回答しました。

こども部長

長田近夫議員からの『若年層の自殺対策強化について』「(1) 自殺の現状について」の質問に対して、「茅野市では平成28年度は12人。国に比べて若干多い。」と回答しました。「(2) いじめ・不登校の現状について」の質問に対して「茅野市のいじめは、平成28年度は小学校が4件、中学校が10件。茅野市の不登校は、平成28年度は小学校が0.03%、中学校が0.49%。国・県と比較して低い値となっている。」と回答しました。「(3) Q-U検査実施の現状について」の質問に対して「昨年度から小中学校の全学年で年1回、学級の中の人間関係を知るために実施し、学級運営に役立てている。」と回答しました。「(4) 養護教員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの現状について」の質問に対して「養護教員は、玉川小で2名、他の小中学校は1名を配置している。スクールカウンセラーは、4中学校区に1名ずつ配置している。市役所と0123広場で定期的に相談を実施している。スクールソーシャルワーカーは、2名体制としている。また、県の専門職とも定期的に情報交換を行っている。」と回答しました。「(5) いじめ早期発見のためのSNS活用について」の質問に対して「SNS相談は、メッセージだけで相談者の真意をどこまで読み取れるかといった相談対応側の問題もある。茅野市では小中学校やCHUKOらんどチノチノに気軽に相談できる体制がある。したがって、SNSの活用は県が実施する場合は連携を模索したい。」と回答しました。

続いて山岸正衛議員より、『英語教育について』「(1) 習得した英語を実践できる場所の設置について」の質問に対して「今年度市内全小中学校にコミュニティスクールが立ち上がる。英語デー等の英語を使う時間を設ける、英語を使うキャンプの実施などを提案して地域の方の協力をいただきながら進めていきたい。」と回答しました。「(2) 英検（実用英語技能検定）受験者に検定料の補助をすることについて」の質問に対して「英語検定が正規の教育課程でないことから今のところ補助については考えていないが、児童生徒や保護者に紹介していきたい。」と回答しました。以上です。

教育長

ご質問などありますか。なければ次の、その他 2「市議会 12 月定例会議決結果について」をお願いします。

こども部長

その他 2 の資料をご覧ください。提案した議案について全て承認をいただきました。教育委員会の関係する議案は、議案第 68 号の「平成 29 年度茅野市一般会計補正予算（第 5 号）について」です。内容については前回ご説明したとおりです。可決ということによってよろしくお願い致します。以上です。

教育長

続いてその他 3「愛してるぜ茅野ミーティング 2017 の報告」についてをお願いします。

こども課長

始めに訂正をお願いします。先ほどの 0123 広場のクリスマス会の参加者は正確には 202 組でした。

ではご報告致します。愛してるぜ茅野ミーティング 2017（第 10 回こども会議）が 12 月 3 日に茅野市民館で開催されました。「茅野市ぼくらの未来プロジェクト」が企画し、「どんぐりネットワーク茅野」と共催して開催しました。また、今回は「子どもの権利条約フォーラム 2017 in 信州」の分科会としても開催したことで、市外からの参加者も含めて小中高生や地域の大人が約 120 名集い、世代を超えた交流を楽しみました。全部で 20 テーブルあり 1 テーブルに 4～6 人が着き、よりよい地域をつくるための子どもと大人の関わり方について意見交換をしました。詳細はカラー印刷の報告をご覧ください。当日行いましたアンケート結果を付けてあります。子どもと大人の結果はそれぞれこのようになっています。2 ページ以降に、活動紹介の感想とワールドカフェの感想を載せてあります。全体として子どもも大人も「さまざまな意見が聞けてよかった」、「話ができてよかった」という感想が多かったように思います。子どもたちは機会を与えれば自分の考えをしっかりと話したり伝えることができると思いますし、「子どもと大人は茅野市の未来をつくるパートナー」であることと踏まえて、さまざまな場面で、地域でも学校でも子どもの意見に耳を傾けながら地域づくり学校づくりを進めていくことが出来ればと思います。ご協力いただきありがとうございました。以上です。

教育長

ご質問などありますか。ではその他 4「平成 30 年度地区公民館長の選考について」をお願いします。

生涯学習課長

平成 30 年地区館長名簿をご覧ください。ちの地区から中大塩地区まで計 10 地区ですが、ここで 10 名の方が決定しましたので、ご報告致します。以上です。

教育長

ではその他 5 「分野別計画の中間報告について」 お願いします。

非 公 開

教育長

ではその他 6 「総合教育会議について」 お願いします。

学校教育係長

お願いします。総合教育会議を 2 月に開催するとご連絡してありますが、総合教育会議は、そもそも市長さんと公の場でさまざまな事柄を協議できる会議と認識されていると思いますが、前回の 8 月のときは教育委員会の取り組みに対して何か要望あるものということを積極的に出していただいたと思います。今回の 2 月に行われる会議では新年度に取り組んでいく各課の課題・目標に対して、また、市長に対しての要望・要求を委員さんのほうから出していただいてもよいのでは、と思っています。段取りとしては各課から新年度の重点課題を出していただいて、各課長から説明いただく、それを議題として委員さんからは市長に対して意見をいただければ、と思います。また、それ以外に委員さんの中で、市長にお話しておきたいことがあれば事前にお知らせください。以上です。

教育長

ご質問などありますか。以上でその他が終了ですが、他にありますか。

学校教育係長

来月の定例教育委員会の日程ですが、1 月 24 日水曜日午後 1 時 30 分から 602 会議室で行います。それに先立ち事務局会議を 1 月 11 日木曜日午前 9 時から 602 会議室で行います。それから各課長にお願いですが、午後 4 時からの仕事納め式の後、教育長さんからの年末の訓辞がありますので、6 階に集まっていただけるようにご配慮をお願いします。以上です。

教育長

それでは、以上で 12 月定例教育委員会を終了します。

茅野市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定によりここに署名する。

平成 30 年 1 月 24 日

茅野市教育委員会 教 育 長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こ ども 部 長